

短期大学の認証評価

学部及び大学院に先立ち、短期大学部も（財）全国短期大学基準協会による第三者評価で「適格」の認証を得ています。

全文は以下のURLに掲載され、公開されています。

http://www.jaca.or.jp/pdf/h21_tandaihyoukakekka.pdf#page=111

掲載ページは107ページ～115ページです。

（財）全国短期大学基準協会は、評価のねらいを「短期大学教育の継続的な質の保証をはかり、加えて短期大学の主体的な改革・改善を支援して、短期大学教育の向上・充実に資する」と明示しています。本学短期大学部は、授業・教育内容の点検・評価活動にいち早く取り組み、それを改善・改革に結びつけてきました。「その真摯な姿勢は他の短期大学の模範となりうる存在である。今後も熱意と意欲を持ってこの姿勢を貫いていくことは想像に難くない。」と絶賛されました。以下に評価結果の総評の全文を掲載いたします。



福島学院大学短期大学部の評価結果 総評（全文）

平成20年6月26日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

当該短期大学は、「真心こそすべてのすべて」を建学の精神としている。建学の精神・教育理念、教育目標・教育目的は体系的に整理され、学則に明示されているほか、各種印刷物、ウェブサイトなどで公表されている。特に学生にはガイダンスなどで説明されるばかりではなく、必修授業「本学の教育」でも講義を行い、より深い浸透・共有化が図られている。各学科とも、教育課程は講義と演習、必修と選択のバランスがとれ適切である。教育の実施体制として、短期大学設置基準を満たし、学生の指導・支援組織、教育環境が充実している。

学生生活支援体制が適切に整備され、学生相談、メンタル・ケアなども積極的に行っている。入学・学習に対する支援が十分に実施され、学生の資格取得率も高く、専門分野への就職率も高い。また、多くの教員が活発に研究活動を行っており、研究紀要への投稿、学会発表などが奨励され、研究支援体制も充実している。

平成18年に開設された福島駅前キャンパスを基点に多くの地域と密接に連携し、社会貢献を展開している。

財務運営が適切に行われ、教育研究用の施設及び学習資源についての配分も適切である。財務体質もおおむね健全である。

当該短期大学は、平成6年以降、継続して行っている自己点検・評価の結果と外部有識者の意見等を踏まえて、改革・改善に熱心に取り組んでいる。そこでは理事長、学長が強いリーダーシップを発揮し、常に先頭に立ってきた。そうした活動の成果は教育内容・実施体制、教育目標の達成度と教育の効果、学生支援、研究等にとどまらず、キャンパス、校舎、講義室、諸規程、管理運営等すべてに反映されている。

